

# 音楽科学習指導案

学 級 1年B組(男子15名女子11名 計26名)

授業者 奥島 美成子

- 1 題材名 「イメージと音楽を形づくっている要素との関連を考えながら、魔王の曲の特徴を感じ取ろう」 (鑑賞)

## 2 題材について

### (1) 題材観

本教材は、B 鑑賞(1)ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」と、[共通事項]ア「音色、旋律、強弱」等にかかわる教材である。

教材曲の「魔王」は、劇的な詩と1人の歌手が4人の人物を歌い分ける表現力、ピアノ伴奏の効果等、音楽の様々な要素があふれた魅力ある歌曲であり、イメージした情景と音楽を形づくっている要素や構造とを関わらせながら、曲想のよさを味わう中学生の鑑賞学習に適している。この曲を「音色」「旋律」「強弱」の変化を手がかりにして聴き味わうことにより、曲のイメージをとらえ、自分なりの価値判断をもって、言葉や文章で表すことができるようにするとともに、音楽のよさや美しさ、面白さが、音楽を形づくっている要素の、どのような働きにより生み出されているのかを、聴き味わう能力を育てることができると考え、本題材を設定した。

### (2) 生徒観

1学期に、ヴィヴァルディ作曲「四季」より「春」を学習し、聴いた音や旋律からイメージを膨らませ、雰囲気を感じ、それを生み出す要素について、言葉や文で表現する学習と、自分の気に入ったところを、紹介文にまとめる学習に取り組んできた。しかし、イメージを言葉で表すことは初めてだったため、自分の言葉を使って書き表すことに抵抗感をもつ様子が見られた。また、「知覚」と「感受」を表現するための語彙が十分でない生徒や、音楽用語を適切に用いて表現する方法が十分身につけていないため、文章を書くことができない生徒も見られた。

このことから、まず、鑑賞で使う言葉を生徒に理解させるため、語彙プリントを生徒に配付し、語彙を増やす手立てを取り入れた。その上で、「魔王」の曲を使って、知覚と感受を関連付ける学習を行い、言葉で自分の考えを書き表すことに対する抵抗感をなくすとともに、楽しみながら音楽を形づくっている要素を知覚し、「魔王」の曲のもつよさを感じさせることで、自分の言葉を使って、聴き味わった曲のよさについて書き表すことができるようにさせていきたい。

### (3) 指導観

本時は、楽曲の魅力や特徴について、まず「魔王のセリフ部分」のみを取り上げ、その曲想の変化を「音色」、「旋律」、「強弱」を手がかりに、じっくり知覚・感受させて、音楽のよさを聴き味わわせたい。

研究の視点の「書く活動」については、曲を聴いて、自分の習得した言葉を使って「魔王」の曲の特徴をとらえ、セリフや、そう考えた理由などを記入し、互いに意見交換させた後にまとめを行うことで、考えをより深めることができる考える。

### 3 題材の目標

- (1) 「魔王」を形づくっている「音色」、「旋律」、「強弱」と曲想との関わりに関心を持ち、イメージを豊かに膨らませて聴こうとする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 「魔王」の「音色」、「旋律」、「強弱」を知覚し、曲のよさを感受しながら解釈したり、価値を考えたり、言葉で説明したりするなどして、音楽のよさを味わって聴こうとする。 【鑑賞】

### 4 単元の指導計画と評価規準 (2時間扱い 本時1/2)

時	学習内容	書く活動	評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>「魔王」の旋律に着目し、「音色」、「旋律」、「強弱」を手がかりに、気持ちの変化を考え、ワークシートに記入する。</li> <li>振り返りとまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに記入する。</li> <li>↓</li> <li>↓</li> <li>↓</li> </ul>	<p>(関) 音楽から曲の雰囲気をつかんだり、「魔王」の気持ちの変化と、音楽の変化との関わりを感じ取ったりしながら、意欲的に鑑賞している。</p> <p>(鑑) 音楽を形づくっている「音色」、「旋律」、「強弱」などの要素を知覚し、曲想との関わりを感受しながら、よさを味わって聴いている。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>「子供」の部分を取り出して聴かせ、他の部分との比較聴取をする。</li> <li>「魔王」の紹介文をワークシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較聴取して聴き取ったことをワークシートに書く。</li> <li>「魔王」の紹介文を書く。</li> </ul>	<p>(鑑) 演奏を比較聴取し、音色、旋律、強弱の違いを知覚し、曲想との関わりを感受しながら、解釈したり価値を考えたりし、気付いたことを言葉や文で表すなどして、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を味わって聴いている。</p>

### 5 本時の指導

#### (1) 目標

- 「音色」、「旋律」、「強弱」を手がかりに、曲の雰囲気をつかんだり、「魔王」の気持ちの変化と、音楽の変化を感じ取ったりするなどして、意欲的に鑑賞している。
- 「魔王」の音楽を形づくっている「音色」、「旋律」、「強弱」を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。



38分	④考えたことを発表させる。 ⑤「魔王」の日本語の歌詞を聴かせる。	④ワークシートに記入した内容をもとに発言し、意見を交流する。 ⑤歌詞の内容を理解する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">         ている。 方法：プリント、発言       </div> ・他の生徒の考えを聴き、自分の考えと比べながら、考えを深める。
まとめ 7分	⑥本時のまとめ ⑦学習の振り返り	⑥「魔王」の音楽の工夫について、音色、旋律、強弱を手がかりに、よさをまとめる。 ⑦本時の授業を振り返る。	□プリントへ、本時のまとめを記入する。

(4) 板書計画

鑑賞曲 「魔王」		シューベルト作曲
学習課題 「魔王」はどんな工夫で表現されているか、音色、旋律、強弱から感じ取ろう。		
魔王は何と言っているだろうか	声の音色、旋律（メロディー）、強弱のどれからそう思ったか	
① 1回目 セリフを書こう  どんな感じからそう思うか		まとめ ○「魔王」のセリフの部分はどんな工夫で表現されていただろうか   ○わかったこと
② 2回目 セリフ  どんな感じから		
③ 3回目 セリフ  どんな感じから		